XNET/IFRS-NEWS

※本資料は、今後の当局（IASB・FASB・ASBJ等）の動向、方針、制度に対する弊社の見解を示す資料であり、その内容の正確性または完全性を、（明示的にも暗示的にも）表明あるいは保証するものではありません。

第22号
May-2015

金融庁がIFRS適用レポートを公表

2014年6月に閣議決定された「「日本再興戦略」改訂2014」に基づき、金融庁はIFRS任意適用企業への実態調査・ヒアリングを実施し、IFRS適用レポートを2015年4月に公表しました。
IFRS任意適用についてのメリットや移行コスト・期間、移行時の課題等をまとめています。

※詳細な内容は金融庁HP（www.fsa.go.jp/news）を参照ください。

主な内容

✓ IFRSの任意適用企業は着々と増加しており、2015年3月31日時点で75社（22業種）が適用済。

✓ IFRS適用の主なメリット
- 経営管理への寄与（IFRSを用いた海外子会社の経営管理の強化）
- 同業他社との比較可能性の向上
- 投資家への説明の容易さ向上　　etc.

✓ 移行コスト
売上高1兆円以上の企業であれば5億円～10億円または10億円以上という回答が最多。売上高5千億円～1兆円の企業であれば1億円～5億円という回答が最多。

✓ 移行期間
売上高1兆円以上の企業または5千億円～1兆円の企業であれば4年～5年または5年以上という回答が最多。
また全体の移行期間が5年以上または3年～5年の企業では、システムの移行期間は1年～2年、2年～3年、3年以上という回答が多い。

Copyright ⓒ 2015 XNET Corporation

Global IT Innovator NTT DATA
NTT DATA Group

※本資料は、今後の当局（IASB・FASB・ASBJ等）の動向、方針、制度に対する弊社の見解を示す資料であり、その内容の正確性または完全性を、(明示的にも暗示的にも）表明あるいは保証するものではありません。

第22号
May-2015

金融庁がIFRS適用レポートを公表

✓ IFRS移行時の主な課題
- （減損や有価証券の公正価値測定といった）特定の会計基準への対応
- 人材の育成及び確保
- 会計システムの導入または更新　　etc.

Copyright ⓒ 2015 XNET Corporation